

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2020.11.9-15

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

- 5:19 御霊を消してはなりません。
5:20 預言をないがしろにははいけません。
5:21 すべてのことを見分けて、ほんとうに良いものを堅く守りなさい。
5:22 悪はどんな悪でも避けなさい。
5:23 平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なるものとしてくださいますように。主イエス・キリストの来臨のとき、責められるところのないように、あなたがたの霊、たましい、からだを完全に守られますように。
5:24 あなたがたを召された方は真実ですから、きっとそのことをしてくださいませ。
5:25 兄弟たち。私たちのためにも祈ってください。
5:26 すべての兄弟たちに、聖なる口づけをもってあいさつをなさい。
5:27 この手紙がすべての兄弟たちに読まれるように、主によって命じます。
5:28 私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたとともにありますように。

御霊はクリスチャンにとってなくてはならないお方です。そして「消してはなりません。」とあるように、私たちが心からお迎えしなければなりません。預言とは神のことばですから、私たちにとっては聖書と言ってよいでしょう。御霊と聖書、これはクリスチャンの生命線です。両者に触れていなくて、クリスチャンの主張も計画も見通しありません。また的を射た意見もあり得ません。

良いものとは何でしょうか。また悪は何でしょうか。両者を取捨選択するのは、御霊と聖書による判断が必要です。

この手紙のように何かたくさんの方が言われると、息が詰まるように感じることもあるかも知れません。パウロは「あなたがたを召された方は真実ですから、きっとそのことをしてくださいませ。」

と宣言しています。主を愛して、主に頼りつつ、主にお会いすることを待ち望みつつ、地上の歩みを全うして行きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は抜おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1:1 パウロ、シルワノ、テモテから、私たちの父なる神および主イエス・キリストにあるテサロニケ人の教会へ。

1:2 父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたの上にありますように。

1:3 兄弟たち。あなたがたのことについて、私たちはいつも神に感謝しなければなりません。そうするのが当然なのです。なぜならあなたがたの信仰が目に見えて成長し、あなたがたすべての間で、ひとりひとりに相互の愛が増し加わっているからです。

1:4 それゆえ私たちは、神の諸教会の間で、あなたがたがすべての迫害と患難とに耐えながらその従順と信仰とを保っていることを、誇りとしています。

1:5 このことは、あなたがたを神の国にふさわしい者とするため、神の正しいさばきを示すしるしであって、あなたがたが苦しみを受けているのは、この神の国のためです。

1:6 つまり、あなたがたを苦しめる者には、報いとして苦しみを与え、

1:7 苦しめられているあなたがたには、私たちとともに、報いとして安息を与えてくださることは、神にとって正しいことなのです。そのことは、主イエスが、炎の中に、力ある御使いたちを従えて天から現われるときに起こります。

1:8 そのとき主は、神を知らない人々や、私たちの主イエスの福音に従わない人々に報復されます。

1:9 そのような人々は、主の御顔の前とその御力の栄光から退けられて、永遠の滅びの刑罰を受けるのです。

1:10 その日に、主イエスは来られて、ご自分の聖徒たちによって栄光を受け、信じたすべての者の・・・そうです。あなたがたに対する私たちの証言は、信じられたのです。・・・感嘆的となります。

1:11 そのためにも、私たちはいつも、あなたがたのために祈っています。どうか、私たちの神が、あなたがたをお召しにふさわしい者にし、また御力によって、善を慕うあらゆる願いと信仰の働きとを全うしてくださいますように。

1:12 それは、私たちの神であり主であるイエス・キリストの恵みによって、主イエスの御名があなたがたの間であがめられ、あなたがたも主にあって栄光を受けるためです。

「迫害と困難に耐えながら」信仰を守り通しているテサロニケ教会の人々に、パウロは「神に感謝」しつつ、この手紙を書いています。私たちも自分自身の在り方が感謝されるような歩みや働きをする者となりましょう。

この時代、主イエスへの信仰を持つことは、迫害困難を受けることを意味しますが、パウロは信仰を伝え、また守ることを勧めました。現代でも事なかれ主義のような風潮にあって、クリスチャンは困難の中でも主のために生きることを励まし合う者たちです。

なぜなら「主イエスが、炎の中に、力ある御使いたちを従えて天から現われる」からです。パウロがテサロニケ教会のクリスチャンに対して「あなたがたを苦しめる者には、報いとして苦しみを与え、苦しめられているあなたがたには、私たちとともに、報いとして安息を与えてくださる」という、厳かなわさが、主イエスの現れのとくに実現すからです。

主イエスのために苦勞することは、決して犠牲

者や被害者ではありません。それは地上にあっては祝福された生涯の扉であり、永遠においては絶大なる報への希望なのです。パウロには愛があるので、そのような生き方を勧めています。

主のために生きる人は「主にあって栄光を受ける」のです。主イエスの再臨と共に、そのことを信じましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



2:1 さて兄弟たちよ。私たちの主イエス・キリストが再び来られることと、私たちが主のみもとに集められることに関して、あなたがたにお願いすることがあります。

2:2 霊によってでも、あるいはことばによってでも、あるいは私たちから出たかのような手紙によってでも、主の日がすでに来たかのように言われるのを聞いて、すぐに落ち着きを失ったり、心を騒がせたりしないでください。

2:3 だれにも、どのようにも、だまされないようにしなさい。なぜなら、まず背教が起こり、不法の人、すなわち滅びの子が現われなければ、主の日は来ないからです。

2:4 彼は、すべて神と呼ばれるもの、また礼拝されるものに反抗し、その上に自分を高く上げ、神の宮の中に座を設け、自分こそ神であると宣言します。

2:5 私がまだあなたがたのところにいるとき、これらのことをよく話しておいたのを思い出しませんか。

2:6 あなたがたが知っているとおおり、彼がその定められた時に現われるようにと、いま引き止めているものがあります。

2:7 不法の秘密はすでに働いています。しかし今は引き止める者があって、自分が取り除かれる時まで引き止めているのです。

2:8 その時になると、不法の人が現われますが、主は御口の息をもって彼を殺し、来臨の輝きをもって滅ぼしてしまわれます。

2:9 不法の人の到来は、サタン働きによるのであって、あらゆる偽りの力、しるし、不思議がそれに伴い、

2:10 また、滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行なわれます。なぜなら、彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。

2:11 それゆえ神は、彼らが偽りを信じるように、惑わず力を送り込まれます。

2:12 それは、真理を信じないで、悪を喜んでいたすべての者が、さばかれるためです。

初代教会の時代には、イエス様の再臨に関して両極端な間違った考えがありました。一つはペテロが手紙で指摘するように、「来臨の約束はどこにあるのか」というような否定と、一つはここにあるように、「主の日がすでに来たかのように」言う行き過ぎです。

現代でも似たようなことがあり、前者は不信仰を起こし、後者は異端を生み出します。私たちは「だまされないように」しつつ、現代社会にある「不法の秘密」すなわち、半キリスト的な「滅びの子」を産み出す思想や風潮などに気をつけなければなりません。

いつかは分かりませんが、いつ来られてもように心の備えをしっかりと、毎日を生きましよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



2:13 しかし、あなたがたのことについては、私たちはいつでも神に感謝しなければなりません。主に愛されている兄弟たち。神は、御霊による聖めと、真理による信仰によって、あなたがたを、初めから救いにお選びになったからです。

2:14 ですから神は、私たちの福音によってあなたがたを召し、私たちの主イエス・キリストの栄光を得させてくださったのです。

2:15 そこで、兄弟たち。堅く立って、私たちのことば、または手紙によって教えられた言い伝えを守りなさい。

どうか、私たちの主イエス・キリストであり、私たちの父なる神である方、すなわち、私たちを愛し、恵みによって永遠の慰めとすばらしい望みとを与えてくださった方ご自身が、

2:17 あらゆる良いわざとことばとに進むよう、あなたがたの心を慰め、強めてくださいますように。

3:1 終わりに、兄弟たちよ。私たちのために祈ってください。主のみことばが、あなたがたのところとと同じように早く広まり、またあがめられますように。

3:2 また、私たちが、ひねくれた悪人どもの手から救い出されますように。すべての人が信仰を持っているのではないからです。

3:3 しかし、主は真実な方ですから、あなたがたを強くし、悪い者から守ってくださいます。

3:4 私たちが命じることを、あなたがたが現に実行しており、これからも実行してくれることを私たちは主にあって確信しています。

3:5 どうか、主があなたがたの心を導いて、神の愛とキリストの忍耐とを持たせてくださいますように。

それには「御霊による聖めと、真理による信仰」が重要です。世にあるものを何でも受け入れるのではなく、主のみこころによって見分けるようにしましょう。そのようにして、この終りの時に惑わされないようにしましょう。

世界史を福音によって変えたパウロであっても、その伝道は簡単でなく、困難を極めました。「ひねくれた悪人」がいたからです。自分と同じように困難にあるテサロニケの信徒たちをパウロは心配しますが、「主は…強くし…守って」くれると確信し、彼らを励ましています。

人を育てるときには、その人のために祈り、主からの確信をいただいて励ますことも、重要な働きです。その際に必要なのは「キリストの忍耐」です。それはあの十字架に至るイエス様の忍耐であって、私たちは十字架を思うときに、強い忍耐が心から湧いてくるのです。

そのように人を育て、自分自身も成長させましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



3:6 兄弟たちよ。主イエス・キリストの御名によって命じます。締めりのない歩み方をして私たちから受けた言い伝えに従わないでいる、すべての兄弟たちから離れていなさい。

3:7 どのように私たちを見ならうべきかは、あなたがた自身が知っているのです。あなたがたのところ、私たちは締めりのないことはしなかったし、

3:8 人のパンをただで食べることもしませんでした。かえって、あなたがたのだれにも負担をかけまいとして、昼も夜も労苦しながら働き続けました。

3:9 それは、私たちに権利がなかったからではなく、ただ私たちを見ならうようにと、身をもってあなたがたに模範を示すためでした。

3:10 私たちは、あなたがたのところにいたときにも、働きたくない者は食べるなど命じました。

3:11 ところが、あなたがたの中には、何も仕事をせず、おせっかいばかりして、締めりのない歩み方をしている人たちがいると聞いています。

3:12 こういう人たちには、主イエス・キリストによって、命じ、また勧めます。静かに仕事をし、自分で得たパンを食べなさい。

3:13 しかしあなたがたは、たゆむことなく善を行ないなさい。兄弟たちよ。

3:14 もし、この手紙に書いた私たちの指示に従わない者があれば、そのような人には、特に注意を払い、交際しないようにしなさい。彼が恥じ入るようになるからです。

3:15 しかし、その人を敵とはみなさず、兄弟として戒めなさい。

3:16 どうか、平和の主ご自身が、どんなばあいにも、いつも、あなたがたに平和を与えてくださいますように。どうか、主があなたがたすべてと、ともにおられますように。

3:17 パウロが自分の手であいさつを書きます。これは私のどの手紙にもあるしです。これが私の手紙の書き方です。

3:18 どうか、私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたすべてとともにありますように。

「締めりのない歩み方」とは、たとえば再臨はもう起きたと言って、実生活に身が入らないで、怠惰に陥っている人々です。または「おせっかいばかりして…」とあるように、自分の現実や足元、そして責任から目をそらして生きる人々です。

聖書は神様から与えられた責任を全うすることによって、それが成立するのです。仕事などの社会的責任を感謝しましょう。職業人も学生も、また主婦も退職者も、自分に与えられた主のみこころは何であるかを、再確認、再認識しましょう。そして、主からそれを新たな思いで受け取りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1:1 ユダの王エホヤキムの治世の第三年に、バビロンの王ネブカデネザルがエルサレムに来て、これを包圍した。

1:2 主がユダの王エホヤキムと神の宮の器具の一部とを彼の手に渡されたので、彼はそれをシヌアルの地にある彼の神の宮に持ち帰り、その器具を彼の神の宝物倉に納めた。

1:3 王は宦官の長アシュペナズに命じて、イスラエル人の中から、王族か貴族を数人選んで連れて来させた。

1:4 その少年たちは、身に何の欠陥もなく、容姿は美しく、あらゆる知恵に秀で、知識に富み、思慮深く、王の宮廷に仕えるにふさわしい者であり、また、カルデヤ人の文学とことばとを教えるにふさわしい者であった。

1:5 王は、王の食べるごちそうと王の飲むぶどう酒から、毎日の分を彼らに割り当て、三年間、彼らを養育することにし、そのあとで彼らが王に仕えるようにした。

1:6 彼らのうちには、ユダ部族のダニエル、ハナヌヤ、ミシャエル、アザルヤがいた。

1:7 宦官の長は彼らにほかの名をつけ、ダニエルにはベルテシャツアル、ハナヌヤにはシャデラク、ミシャエルにはメシャク、アザルヤにはアベデ・ネゴと名をつけた。

1:8 ダニエルは、王の食べるごちそうや王の飲むぶどう酒で身を汚すまいと心に定め、身を汚さないようにさせてくれ、と宦官の長に願った。

1:9 神は宦官の長に、ダニエルを愛しいつくしむ心を与えられた。

カテゴリーに入っていました。すなわち詩篇と同じく、現在を神とともに生きる民への教えです。捕囚となって異教の地に住むというのは、不信仰者の中に住むクリスチャンのようであり、ダニエルの行き方は私たちの模範とするところなのです。またダニエルに主がよくしてくださったことは、私たちの希望でもあります。

その希望はダニエルたちの信仰の従いにあります。旧約の律法ではありますが、当時の神様の命令を守り、「身を汚すまいと心に定め」ていたのです。それゆえに「神は宦官の長に、ダニエルをいつくしむ心と与え」られたのでした。

この世に生きるために一番必要なのは、器用に立ち振る舞うことではなく、主に従う愚直さであることを学びましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

ダニエル書は預言の書として扱われますが、もともと旧約時代においては、聖文書（または諸書）の



1:10 宦官の長はダニエルに言った。「私は、あなたがたの食べ物と飲み物とを定めた王さまを恐れている。もし王さまが、あなたがたの顔に、あなたがたと同年輩の少年より元気がないのを見たなら、王さまはきっと私を罰するだろう。」

1:11 そこで、ダニエルは、宦官の長がダニエル、ハナヌヤ、ミシャエル、アザルヤのために任命した世話役に言った。

1:12 「どうか十日間、しもべたちをためしてください。私たちに野菜を与えて食べさせ、水を与えて飲ませてください。

1:13 そのようにして、私たちの顔色と、王さまの食べるごちそうを食べている少年たちの顔色とを見比べて、あなたの見るところに従ってこのしもべたちを扱ってください。」

1:14 世話役は彼らのこの申し出を聞き入れて、十日間、彼らをためてみた。

1:15 十日の終わりになって、彼らの顔色は、王の食べるごちそうを食べているどの少年よりも良く、からだも肥えていた。

1:16 そこで世話役は、彼らの食べるはずだったごちそうと、飲むはずだったぶどう酒とを取りやめて、彼らに野菜を与えることにした。

1:17 神はこの四人の少年に、知識と、あらゆる文学を悟る力と知恵を与えられた。ダニエルは、すべての幻と夢とを解くことができた。

1:18 彼らを召し入れるために王が命じておいた日数の終わりになって、宦官の長は彼らをネブカデネザルの前に連れて来た。

1:19 王が彼らと話してみると、みなのうちでだれもダニエル、ハナヌヤ、ミシャエル、ア

ザルヤに並ぶ者はなかった。そこで彼らは王に仕えることになった。

1:20 王が彼らに尋ねてみると、知恵と悟りのあらゆる面で、彼らは国中のどんな呪法師、呪文師よりも十倍もまさっているということがわかった。

1:21 ダニエルはクロス王の元年までそこにいた。

ダニエルたちは、神様の命令に従って食べ物を制限していましたが、それと同時にこの宦官の長に対する配慮も忘れませんでした。独善的な信仰ではなく、また異教の人をないがしろにするのもなかったのです。

彼らの真心は宦官の長にも伝わったのでしょうか。彼はダニエルたちの申し出を受け入れました。ただ主と隣人のために生きて、自分たちには何の得もないような生き方のようにですが、それが神様の祝福をいただく道です。そこに主の祝福があり、「彼らは王に仕えること」になりました。

彼らを恵みで満たした主は今も生きておられます。私たちが信仰によって生きましょう。信仰によって逆境を跳ね除けましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

